同窓会だより

〒510-0882　四日市市追分1丁目9番34号　Tel.059-345-0036 Fax.059-347-2989
http://www.kaiseiob.com

定例総会は10月16日に開催します。

講演会・懇親会の開催は見送ります。

当会の定例総会は予算や決算、事業報告、役員更改などの審議を通じて同窓会運営の基本方針を定める重要な行事です。2年に1度開催することが会則に定められており、本年はその開催年に当たります。

ワクチン接種が進むなど新型コロナウイルスをめぐる社会情勢は日々刻々と変化しておりますが、総会開催が予定されている10月の国内状況を楽観視することは、現時点では難しいのが実情です。そうした状況をふまえて、本年の総会は感染拡大防止の対策を講じた上で、例年より規模を縮小して開催することとします。例年、総会後に開催しております記念講演会と懇親会につきましては開催を見送ります。

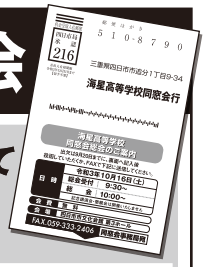
総会の詳細につきましては下に記載したとおりです。例年と異なり会場が「四日市市文化会館」、時間帯が「午前」となりますので十分お気をつけください。普段どおりの開催を期待していただいていたみなさんには誠に申し訳ありませんが、現下の状況を鑑み、どうぞご容赦ください。総会出席のお申し込みは同封のハガキまたはファックス、メールでお願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の状況如何によっては、開催を延期する可能性があります。その際は、出席のお申し込みをいただいたみなさんにのみ、直接ご連絡差し上げた上で、当会公式サイトおよびフェイスブックページにて告知させていただきますのでご了承ください。

特集

共学化した海星 今どんな感じ？ …… P2〜P3
創立80周年を前に26年ぶり新校舎建設へ …… P4〜P5
あの「机椅子」の謎に新事実が次々判明（前回の続き） …… P6〜P7

令和3年度 海星高等学校同窓会総会



- 日時／令和3年10月16日（土）
- 受付／9時30分〜
- 総会／10時00分〜
- 記念講演会／開催しません。
- 懇親会／開催しません。
- 会場／四日市市文化会館第3ホール
- 会費／無料

同封のはがきにて出席申込をお願いします。

<メールからも参加申し込みができます>

メール本文に「令和3年度総会に参加します。」の1文と氏名、卒業年（卒業年度、卒業回も可）をご記入の上、送信してください。

送信メールアドレス：
mizutani-wood@par.odn.ne.jp

海星祭

バザーへのご協力のお願い

コロナ禍の終息はまだ見通せない状況ですが、今年度の海星祭は、一般公開をしない形で10月30日に開催する方向で検討されています。したがって、今年度も同窓会主催のバザーと模擬店は中止させていただきます。

ただし、来年度以降に開催される海星祭に備えて、バザー商品の募集は今年度も例年どおり実施させていただきます。会員のみなさんからご提供いただく商品は、バザー担当の委員会が責任を持って大切に保管させていただきます。

商品募集の詳細につきましては、担当・関（電話〇九〇―三三〇八―六八二三）ほか同窓会本部役員までお問い合わせください。

なお、収益金は星の窓基金を通じて在校生の支援に役立てます。

同窓会懇親ゴルフコンペ

第21回・第22回同窓会懇親ゴルフコンペの成績は次のとおりでした（敬称略）。

■第21回（11月26日開催）
①寺田治男（15回生）
②益川篤夫（37回生）
③片野田信一（23回生）

■第22回（4月22日開催）
①福本利継（11回生）
②片野田信一（23回生）
③東栄作（19回生）

第23回 懇親ゴルフコンペ開催のお知らせ

第23回懇親ゴルフコンペを以下のとおり開催します。みなさんふるってご参加ください。（コロナ禍の状況等により中止する場合は10月中に当会公式サイトでお知らせします）。

■開催日
令和3年11月18日（木）

■開催場所
三鈴カントリー倶楽部
（鈴鹿市小社町七六七／東名阪鈴鹿インターより車で4分）

■プレー代
一、〇〇〇円（税別）
（キャディ付乗用カートプレー代・昼食券・パーティ時1ドリンク付き）

■会費
三、〇〇〇円（税別）
（賞品代・パーティ料理代）

■お問い合わせ・お申し込み
コンペ実行委員会・松山
メール reiseisya@yahoo.co.jp
FAX 059（3883）8920

これからのリユース型社会のお手伝い
価値あるご不要品の買取はモノマニアグループへ！
リユースショップ モノマニア MONOMANIA
朝日店 Tel.059-376-2822
四日市店 Tel.059-347-4333
モノマニア 2nd MONO MANIA Tel.059-376-2733
リサイクル&アウトレット もの創庫 Tel.059-349-5055
ホームページもご覧ください！ モノマニア 検索
三幸株式会社 代表取締役社長 松平紳太郎

サンジルシ
日本の風味 世界の調味
本社／〒511-0823 桑名市明正通 1-572-1
TEL 0594-22-3333
FAX 0594-23-3333
http://www.san-j.co.jp/
サンジルシ醸造株式会社



同窓会公式ウェブサイトも随時更新中。ぜひ一度ご覧ください!
http://www.kaiseiob.com

共学化した海星は 今どうなってる？

この春いよいよ共学化し、新たな時代を迎えた海星。記念すべき共学1期生として入学してくれたのは中高合わせて359名。うち102名が女子で、高校1年生の27％、中学1年生の35％をしめる形となりました。

特別教育コースを含めた今年度の高校1年生は319名で直近3年間の平均と比べて93％増。300人超えは16年ぶりです。もちろん、共学化したことが大きな要因の1つであることは間違いありません。しかし、そもそも学校の価値が高く評価されていなければ、「共学化」したところで海星が進路として選ばれることはありません。

先生方が心の込もった海星らしい教育活動を積み重ねてきたこと、それに応えた生徒諸君が生き生きとした姿を見せ続けてくれたこと、そうしたことが地域のみなさんの海星に対する評価を高めてきたのでしょう。もしかしたら我々OBの日々の姿も海星の評価に影響を与えているかも!?

共学化から数か月。今の海星がどんなふうになっているのか。OBとしては大いに気になるところ。どうやら「新時代」の到来に相応しく、学校全体が大いに活性化している様子。女子生徒を受け入れている3つのコースの状況を中心に、現場を担う先生方にお話をうかがうとともに、生徒諸君に生の声を寄せてもらいました。



▶ある日の昼休み。中庭の風景はステキな学園生活を絵に描いたようだった。

特別教育コース

共学化した6年制の特別教育コース。共学初年度となる今年度は女子25名、男子46名、計71名の生徒が入学し、3クラス編成でスタートしました。

木村俊彦先生（49回生・学年主任兼任）、水野実香先生、林剛弘先生（52回生）が担任しておられ、6年制教育部部長の藤田勝成先生（23回生）と中等部コース主任の別所優衣先生が重層的にバックアップする手厚い体制が取られています。

6年という時間をともに過ごす「特別教育コース」はやはり一番海星らしさが表れるコースです。「家庭的な雰囲気」と評されることが多いのも、そのためでしょう。

毎年の入学式で必ず「今日から『海星ファミリー』の一員ですね」と声をかけるという別所先生は、日常的に中学生と接する機会が特に多いそうで、海星の中学生にとってまさに母のような存在となっている様子。新しい生活に不安も抱えているであろう1年生やその保護者にとっても、頼れる存在となっているようです。

今年度は、共学化とともに6年制コースのスタッフ再編、時程の変更、新カリキュラムへの移行、iPadと電子教科書やe-Learning教材の導入といった「新しいこと」が重なりました。まさに「海星新時代」の幕開けに、これまで「当たり前」だったことが見直され、アップデートされている状況と言えるようです。

「共学化」だけでない様々な変化が、中学全体を大いに活性化しているようです。

一方で「どんなふうに生徒たちを育てたいか」ということに対する海星の先生方の思いは、これまでと変わらない…。そんな様子がうかがえます。「一人一人が自分だけの『キラっと光る素敵なモノ』を見つけ出し、伸ばし、活かしていける」そんな学校であり続けたいと、別所先生はおっしゃいます。

新年度が始まって時間が経ち、落ち着いてきた様子が見られる反面、見えてきた課題もあり、「その一つ一つとしっかり向き合っていきたい」とのこと。「教員も生徒も、みんながその人らしく輝きながら、ともに素敵な時間を重ねていきたい」という別所先生の言葉には、学校という場のあるべき姿が今の海星にはある、そんなふうにすら思えます。

特別教育コース ～生徒の声～

■中学1年Aさん

僕は入学してからずっと、しっかりあいさつをすることを心がけています。同級生はもちろん、先生や先輩にも自分からあいさつをするようにしています。初めのころはとても緊張しましたが、今ではもう習慣になってきました。

■中学1年Bさん

私は授業を大切にするようにしています。先生はていねいに教えてくださいます。また、「電子黒板」「iPad」が使えるのもいいです。「スタディサプリ」は、授業で使ったり、毎週宿題になるので大変ですが、頑張っています。放課後は、部活動が終わってから「放課後学習」にも参加しています。「毎日の記録」など宿題をすることが多いです。

■中学1年Cさん

僕は、毎日の部活動を楽しみにしています。中高一緒に活動しているのですが、先生・先輩は優しくしてくれるし、練習も熱心にできるのでとても嬉しいです。

■中学1年Dさん

お昼に食堂を利用できることがとても楽しみです。事前に「お弁当」を注文をしたりします。この前は授業が終わってからすぐに食堂に向かい、先輩からおすすめされたラーメンを食べました。「ポテト」も人気で、揚げたてがおいしいです。パンは「放課後学習」の前に食べるために買うこともあります。



▶中学1年のある日の授業風景。国語の時間、班に分かれて話し合いをしています。

不動産有効活用の企画提案・仲介、測量・設計・開発申請許可、建築設計、土木・建築工事
CHŌKŌ 株式会社 長工
TEL.059-351-0133
FAX.059-351-0197
https://www.choko-group.jp/
〒510-0071 三重県四日市市西浦一丁目6番4号 ステルス4F

中部住研株式会社
■本　社　四日市市青葉町780-4　☎059-352-1220
■ときわ営業所　四日市市ときわ4丁目4−7　☎059-340-3370
■阿倉川営業所　四日市市西阿倉川1673-1　☎059-337-8661

経営者の皆さん！
ウェブから集客できてますか？
良い人材を採用できていますか？
御社に今必要なのはウェブマーケティング力かもしれません。
中小企業のマーケティング専門家
CREATIVE AGENCY BASE
株式会社ベイス
四日市市朝日町３の２プラザ1986・3F
☎(059)355-3939 https://base-net.co.jp
会社紹介動画はコチラ

COVID-19対策のため取材活動を縮小し、連載企画をお休みしました。ご了承ください。
http://www.kaiseiob.com

進学特別コース

3年制の既存コースで唯一共学化した進学特別コース。共学初年度となる今年度は、女子54名、男子53名、合計107名の生徒が入学し、3クラス編成でスタートしました。担任は同コース主任を兼ねる日向和義先生（46回生）と尾田沙波先生、小川貴之先生（54回生）が務めておられます。

公立中学で過ごしてきた新1年生にとって、共学はごく自然なことであり、その点で特に戸惑いは見られません。明るく落ち着いた雰囲気の中で、みなさん真面目に前向きな態度で高校生活を送っている様子とのこと。

その一方、共学化が新たな取り組みとなった先生方の側には当初やはり身構えるところがあったそうです。

しかし、実際に新入生を迎え、生徒たちとともに日々を過ごす中で、徐々に以前と変わらず自然体で取り組めるようになってきたようです。活躍する場面が男女で違う傾向が見られるようですが、互いに敬意を持って学校生活を送っている様子が感じられ、「共学であることによって生まれる雰囲気の良さを実感することも多い」と日向先生はおっしゃいます。

上級生同様、1年生も9割程度が生徒会やクラブの活動に参加しており、「文武両道」の校風は健在です。体育系のクラブでは女子部員が少ないことで練習や試合がまだ十分にできない状況がありますが、それでも多くの生徒諸君が前向きに取り組んでくれているとのことです。学校外での活動や留学の準備に積極的な生徒諸君もいるそうで、コース全体に能動的な空気が満ちている印象です。

高校3年間はあっという間。2年進級時には文・理系のコース選択、その後には卒業後の具体的な進路を考える場面がやってきます。そうした場面での判断基準や選択肢は、共学化によりこれまで以上に多様になると想定されます。そうした変化にも対応し、正確に理解して適切に指導できるよう、先生方は準備を進めておられるとのこと。「やりたいことを心から応援し、やりたいことを見つけられる3年間にしてもらえるよう、しっかりと向き合っていきたい」という日向先生の言葉には、生徒諸君に対する今の海星の先生方の姿勢が端的に表れているように感じられます。



▶4月に行われた、「新体力テスト」の様子。高校1年生のハンドボール投げ。最高記録は女子21m、男子34m。

進学特別コース ～生徒の声～

■高校1年Eさん

私は第1志望の公立高校に合格できなかったので、この海星高校に来ました。通学に片道1時間かかるなど大変なこともありますが、海星に来て良かったとすごく思います。

その理由の1つは、クラスの雰囲気がとても良いことです。分からないことがあったら互いに教え合い、支え合っていますし、授業中と休み時間のメリハリがついていて、いつでも楽しいので、私はこのクラスが大好きです。

2つめは部活が充実していることです。家に着く時間が9時頃になるなど帰りが遅くなりますが、先輩方もとても優しく接してくださるので、とても楽しむことができています。

このように私は今、学校生活をとても楽しんでいます。私は大学に行きたいので、勉強もおろそかにならないように頑張っていきたいです。これからもいろいろなことに挑戦し、海星高校で充実した3年間を送っていきたいです。

国際数理コース

今年度から共学化した海星に新たに「国際数理コース」が立ち上がりました。

そもそも海星の共学化への動きは本コース設立の構想がきっかけ。それだけに本コースは「海星新時代」の象徴的存在とも言え、共学化した海星の一枚看板を担う存在となることが期待されています。

そんな熱い期待に応えて入学した1年生は29名。女子が23名、男子が6名で、栄えある1期生は女子が多数派となる形となりました。

担任するのは英語科の細川直宏先生（58回生）。コース主任で数学科の位田紀行先生（45回生）とタッグを組み、生徒諸君を全力でサポートしています。

教室が男臭くないことも、これまでに無い嬉しい変化の1つですが、違いはもちろんそれだけではありません。

海星が独自に設定している「探究学習」の時間には、様々な社会問題をそれぞれの関心事をベースに「自分事」として捉え、グループワークの中で各自の意見を表現することに取り組みました。自分自身が何に興味を持っているのかを探ることで、学びを「机上の他人事」から「リアルな自分事」に取り戻す。そんな「深い学び」への挑戦的な取り組みが始まっています。

また、よりリアリティのある学びを体験するため、企業とのコラボレーションも具体的に検討しているとのこと。将来的には我々がOBとして、同窓会として協力できることもありそうです。

実際に生徒諸君とともに過ごし、その高い向学心と、凄みさえ感じさせるという探究心の強さを目の当たりにして、先生方もますます意欲的になっているといいます。「どんなきっかけ、チャンスを提供できるだろうか」常にそう考えているという位田先生の声からは、生徒諸君とともに本コースでの学びを充実させていこうとする情熱が感じられました。

愛と真理を大切にする海星ならではの豊かな人間性。幅広い視野と高いコミュニケーション能力を生かして国際的に活躍できる力。データ分析などによる論理的な根拠に基づいて考えを深める力。自身の思いや考えを表現し、行動に移す力。本コースで身につけたそんな力を生かし、先行き不透明な現代社会に道を切り開く。そんな人が現れる日も、そう遠くない気がします。


▶国際数理コース1年のある日の教室。話す力などを身につけるコミュニケーション英語Ⅰの授業。

国際数理コース ～生徒の声～

■高校1年Fさん

私は国際数理コースでとても充実した高校生活を送っています。

週4日の7限授業と毎日の宿題をこなすのは本当に大変ですが、楽しすぎて毎日があっという間に過ぎていってしまいます。

「SDGs」をテーマにした探究学習で一緒に世界の状況を学んだり、いつどこへ留学するかといった話をしたり、一人一人の知恵や志を高め合えるクラスです。

個性豊かな28人のクラスメイトと、とても信頼のできる大好きな先生方と、勉強も部活動も一生懸命頑張っていきます。

各メーカー浄化槽取り扱い　水洗化工事・合併への転換工事
各市町村補助金対応　修理・保守点検もご相談ください
浄化槽 設計・施工・保守点検
JP 株式会社 Jプランニング
〒510-1325 三重県三重郡菰野町大字榊 936-29 TEL:059-340-3671 FAX:059-340-3672

陶器木箱・食品木箱・モミ木箱・焼杉・製造販売
MSK 水谷製函株式会社
四日市市別名 5-4-37　059(331)6550

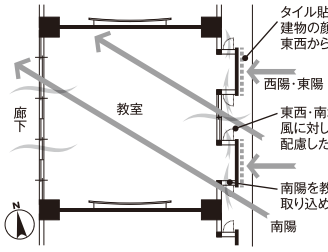
同窓会Facebookページも公開中!　ぜひフォローしてください!
https://www.facebook.com/kaiseidousoukai.mie/

新校舎建設、海星の新たな80年へ



荘厳で気品とやさしさを持つ外観

共学化など学校改革が進む母校からまた大きなニュースが届きました。２０２３年初めの竣工を目指し、新たに校舎を建設するとのこと。早ければ今年12月にも着工する予定だといいます。4年後の２０２５年に創立80周年の節目を迎える海星。そこから広がる次の80年を視野にキャンパスの刷新が進められていきます。



外観・採光・日射遮蔽すべてを考慮した平面構成



カトリック校らしさ

今回新たに建設されるのは教室や体育室を併存させる4階建ての校舎。「管理棟」（現在職員室や図書室のある校舎）の東側に建てられる予定です。聖ヨゼフ・カラサンス館が建てられた1996年以来26年ぶりの新校舎建設となります。

新校舎の外壁には褐色のタイルが多用され、その端正な外観がカトリック校らしい荘厳で気品ある雰囲気を演出します。また、その外壁はタイル貼りの壁面を凸、光を取り込む窓を凹とする立体的な構造になる予定で、朝夕の強い日差しを遮りつつ、学習に必要な明るさや心地良い風を取り入れる工夫が施されています。

TODC
帝産大鐘ダイカスト工業株式会社
〒512-8053 三重県四日市市大鐘町字安田1245番地
0120-337-352
TEL 059-337-0152
FAX 059-337-1539
WEB oganedc.com

桑名・長島温泉名物
安永餅
安永餅
本　店／桑名市有楽町35☎0594-22-0327　(株)永餅屋老舗

TransRingGroup
TRG 池畑運送株式会社
四日市市新正３丁目１２番３号　Tel.059-353-7566

旅のことなら・・・
TRAVELUX
トラベラックス
〒510-0833 三重県四日市市中川原 3-6-13
TEL:059-356-3100　FAX:059-356-3105
www.travelux.jp　E-mail:info@travelux.jp　三重県知事登録旅行業第 3-233 号

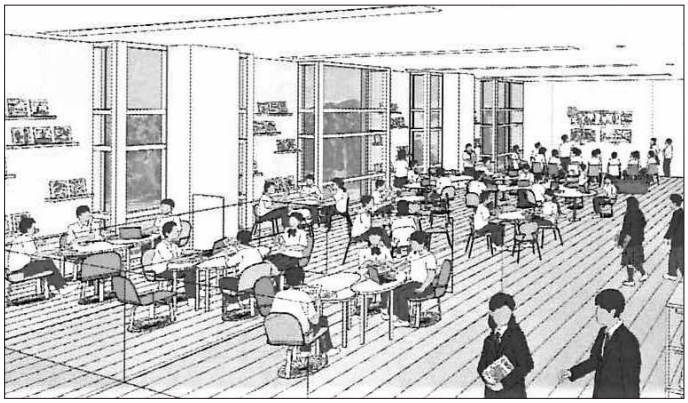
「机椅子」の謎に関する情報や面白エピソードをお寄せください。お待ちしています。
http://www.kaiseiob.com

キャンパス再編スタート

多用途な4階建て

水回りや特殊な設備が必要な特別教室が1階にまとめられ、普通教室は2・3階に並ぶ予定。4階には講堂としても使える間仕切り可能な体育室が設けられ、日常的には体育館と同様にスポーツの場として利用されます。音や振動が階下に伝わらないよう、3階との間には緩衝帯が設けられます。

将来変化していくであろう教育のあり方に合わせて、教室の形も変えられる構造で作られるそうです。これまでの学校教育は、先生方が大勢の生徒に向かって一斉に話を聞かせる「一斉授業」が当たり前でした。しかし近年その様子は変わりつつあります。グループ学習や個別学習を併用したり、議論や体験、共同作業を取り入れることが徐々に増えてきました。学びのあり方が変われば、それに相応しい空間の形も変わります。新校舎にはそうした多様な学びに適した「ラーニング・コモンズ」と呼ばれる空間が設けられます。また、将来の変化にも柔軟に対応できるよう、建物内部のレイアウトが壁に拘束されない新しい構造が採用される予定です。

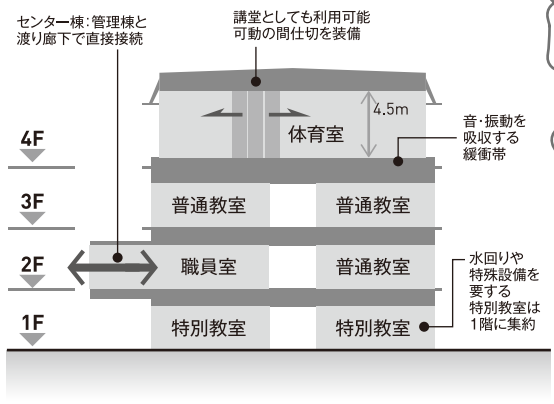


▲ 自主学習やグループ学習に適した「ラーニング・コモンズ」は近年、大学図書館などに設けられるようになった学習空間。プレゼンテーションに適したスペースも併設される。自主性の高さが評価されている海星の生徒諸君にはうってつけの空間となるでしょう。

居心地の良さも

また、各階には更衣室のほか、休み時間の憩いの場となるようラウンジも設けられ、学園生活の場が居心地の良い空間となるような配慮もなされます。昇降口その他に配されるステンドグラスは、学園生活に明るさと清らかさをもたらすことでしょう。また、注目されるのは、2階に配される昇降口へ続く間口の広い外階段で、海星祭などの場面では立体的なイベント空間として活用されることが想定されています。

教育の本質的な価値が、生徒諸君と先生方の日々の営みそのものにあることは間違いありません。しかし、たかが校舎、されど校舎です。毎日の学園生活の場となる校舎のありようが、教育の中身に大いに影響することは間違いありません。「次の80年」に向かって、新校舎が生徒諸君にとっても先生方にとっても使い勝手の良いものとなるよう、熟慮が重ねられ、みなさんの思いが反映された、理想的な校舎となるよう期待したいところです。





校舎建設のあゆみ
※現存校舎の竣工年

- 1959年…… 南校舎
- 1961年…… 中校舎
- 1964年…… 美術・技術室棟／東京オリンピック記念体育館
- 1966年…… エスコラピオス修道院／武道館
- 1973年…… 北校舎西半
- 1979年…… 北校舎東半
- 1980年…… 屋内練習場
- 1985年…… 管理棟
- 1996年…… 聖ヨゼフ・カラサンス館
- 2022年…… 新校舎



※管理棟部分を透かしてあります。

SAFETY・SPEEDY・SINCERITY
朝日土木株式会社
〒510-0033 三重県四日市市川原町32番1号
Tel.<059>331-1146（代）
菰野出張所・鈴鹿出張所・
伊勢出張所・三重リサイクルセンター

鳥金
良き食の品を伝えたい。
松坂牛協会員指定第425号 426号
■本　店　四日市市新町1の10　Tel.059-352-4644
■松本店　四日市市松本2丁目6-26　Tel.059-352-2983
■中部近鉄百貨店　四日市店　Tel.059-353-5151

社会福祉法人フジ福祉会
フジ保育園
三重県四日市市東坂部町150−4
TEL: (059)331-4128

公式ウェブサイトやFacebookでも開催告知や開催報告を公開させていただきます。ご一報ください!
http://www.kaiseiob.com

今さら聞けない 海星Q&Aスペシャル

机椅子の謎、続々報



これまでの経緯

30代以上の同窓生にとっては懐かしい「机椅子」。机と椅子がつながった、あの奇妙奇天烈な代物は、一体どこから来たのか…、そのルーツを探るべく、取材班は「海星の生き字引」である諸先輩にお話をうかがい、母校の書庫に眠る学校誌『星塔』のバックナンバーをくまなく追いかけた。興味深い話題には事欠かなかったが、謎に迫る有力な情報は得られず、調査は早々から暗礁に乗り上げた。



ならば、と取りかかったのは、"どこへ行ったのか…"という謎。調査には衝撃的な展開が待ち受けていた。「モザンビークの小学校へ寄贈された」という「星塔」の情報を元に、その仲介役とされたカトリック系人道支援団体カリタスジャパンへ取材をしたところ、「物品による寄付は受け付けていない」という想定外の回答が。20年近く経過した今となっては、母校にもカリタスジャパンにも当時の書類は残されておらず、「星塔」の記事の真偽を確かめることもできない。

現物が残っていれば、手掛かりが見つかるかも…そんな期待を込めて校内を捜索すると、搬出時に見落とされたのであろう机椅子が、複数のクラブの部室から続々と発見された。その姿はじゅうぶんに往時を偲ばせたが、残念ながら謎を解く手掛かりは得られなかった。

深まるばかりの謎。しかしこの度、突破口となり得る有力な新情報を入手した取材班は2年ぶりに調査を再開した。

取材班のもとに新たな情報が寄せられた。鬼編集長は「行け！」と言う。重い腰を上げ、四日市市立図書館へ向かった。

情報によれば、2002年7月27日付の中日新聞に、机椅子の搬出を取り上げた記事が掲載されているとのこと。閲覧室に案内され、資料室から出してもらった新聞を震える手でめくる――あった。19面の「三重総合」版、夏の高校野球 県予選での、海星の準決勝進出を伝える記事の隣に、《「使い古しですが役立てて」アフリカに机寄贈 生徒ら積み出し作業に汗》との見出しで、約270字にわたって掲載されていた。写真入りである。

ここで注目すべきは、見出しでアレが「机」と表現され、記事中では「机という約一千組を」と書かれていることである。コンテナに積み込む様子を撮影した写真も絶妙な角度で、一般の読者は何の違和感もなく「机という」と認識するかもしれない。もちろん、この記事の本質はアレが「アフリカに寄贈」されたことであり、「机と椅子がつながっている」という特殊性ではないのだから、目撃した当時の記者が好奇心に駆られたとしても、それをうまくスルーしたことは極めて賢明な判断だったといえる。

そして、この記事にもやはり「カリタスジャパンを通じて」との記載があった。取材元が海星なのだから「星塔」の記事と一致するのは当然なのだが、「大手新聞でも報道された」という事実はカリタスジャパンへの再取材を敢行するのにじゅうぶんな勇気を与えてくれた。

そんな強力な武器を携えてカリタスジャパンへ改めて電話。「なんとかもう一度調べてもらえませんか」と懇願すると、担当の方は企画の趣旨を理解して、再調査を約束してくださった。しかし書類の保存期限は10年だそうで「20年前となると資料が残っている可能性は極めて低い」とのこと。わずかな可能性に期待しつつ、もう1つ別の糸口からも調査を進めることにした。

「関西の某有名進学校でも一体型の『机イス』が採用されているらしい」ということは3年前の記事でも触れた。その「机イス」について記載があるという書籍「試験に受かる『技術』」を、ようやく取り寄せたのである。掲載許可がりたので明かすが、著者は医師の吉田たかよし氏であり、「関西の某有名進学校」は氏の母校である兵庫県の灘高校である。

同書によれば、敢えて座り心地の悪い「机イス」で授業を受けることで、その負荷が学習効果を高め、また椅子の下のデッドスペースを教材の収納に利用することで、ロッカーなどに取りに行く手間が省け、効率的に時間を活用できるという。灘高校ではそのような理由で、現在でも「体型」机イス」を使い続けているとのこと。

発注先の業者が分かれば、何か新しい情報につながるのではないか…怪しまれるのを覚悟で灘高校へ電話をかけてみた。しかし、やりとりは拍子抜けするほどスムースで、大変快く対応してくださり、教えていただいた情報は本やインターネットでは知りえなかった意外な新事実であった。

「ウチで使っているものは特注でしてね、加古川刑務所に委託しているのですよ。以前はH家具っていうところに発注していたのが、震災を機に廃業してしまって。ウチも困って色々探したのですが、見つからなくて。それで、厳密な納期は決めず、一定以上の数で発注するという条件付きで、刑務所で作ってもらっているのです。」

となると、一体型の机椅子を取り扱っている業者は、現在はもう存在しないのだろうか…。

懲りずに「机椅子 一体型 学校」などとワードを並べて改めてネット検索していると、株式会社香取という業者がヒットした。東京でオフィス用品や学用品を取り扱っているらしい。ダメもとで電話をかけると、ベテラン従業員らしき女性が応対してくださった。

「ああ、確かに昔そういうタイプの、ありましたねぇ。」

という、好感触の反応が。

「私が子どもの頃ですから、もう40、50年ほど前ですが。お話を聞いて、懐かしいなと思いました。ウチでは扱っていませんが…ちょっと待ってください。」

そう言って、電話を営業担当らしき男性に替わった。

「一体型…ですか？えーっと、何か見本のようなものは…。あ～、なるほど、確かにつながっていますね。こういうのは初めて見たなぁ。」

先ほどの女性が大方の事情を話してくれたようで、親切に相談に乗ってくださった。

「我々のような卸業者ではなく、大手のメーカーさんに問い合わせてみるのも一つですよ。あとはひょっとしたら、地元の地場産の業者に発注していた可能性もあるかもしれませんね。」

と業界人ならではのアドバイス。更には、

「僕も協力しますよ。何か情報があれば、連絡しますね。」

と望外の申し出をいただいたので、こちらの連絡先を伝えつつ、先方のお名前をうかがえば、

「代表の香取です」

と。なんと社名と同じなのであった。社長である。恐縮しつつ、電話を切る。調査が行き詰まっていただけに、この心温まるやりとりは取材を前に進める勢いを与えてくれた。

その勢いを借りてコンタクトを取ったのは、当時の海星の中枢にいたであろう2人のキーパーソン、田中實乗元校長と中村文昭前事務長である。その日から、空き時間を見つけては何度も電話連絡を試み、まずは中村前事務長への取材が叶った。

「カリタスジャパンに依頼したというのは間違いないです。吉川さん（仮名）という人が担当で、学校にもいらっしゃいました。よく覚えていますよ。」

いきなり断然信憑性の高い話が出てきた。それにしても20年前のたった一度のご縁であったろうに、相手の名前を即答できる中村さんの記憶力に脱帽する。

「輸送費もかかるだろうからということで、100万円の寄付もしたんですよ。」

さらに具体的かつ興味深い話が出てきた。現金も併せて寄付してい

▶2002年7月27日付「中日新聞」三重総合版の記事（中日新聞社様の許諾を得て転載しています。）

海星中学・高校

「使い古しですが役立てて」

アフリカに机 寄贈

生徒ら積み出し作業に汗

海星中学・高校（四日市市追分）が、アフリカ・モザンビークの小学校に机という約一千組を寄付することになり、二十六日、生徒らが積み出し作業をした。

備品の入れ替えで生じた机という有効に活用したい、海外援助などをしている社会福祉団体「カリタスジャパン」を通じて同国へ贈ることになった。八月二十九日に到着する予定。

この日の積み出しには、同校の環境ボランティア部、生徒会、野球部の有志ら計約四十人が参加。流れる汗をぬぐいながら、大型トレーラーのコンテナに運び入れた。

野球部員らは「ぼくら、役に立つのはうれしい」「野球の使っていた机が、また」と笑顔で話していた。



机をコンテナに運び入れる野球部員たち＝四日市市追分の海星中学・高校で

［機械部品加工］
㈲ 常磐精機
☎ 059-352-4547

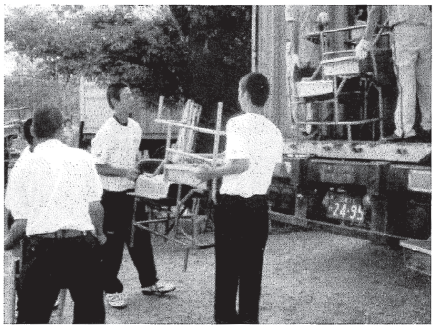
株式会社 桑名総合警備保障
〒511-0834　三重県桑名市大字大福字宮東 356
TEL〈0594〉25-1128㈹　FAX〈0594〉24-8823

本誌「同窓会だより」に広告を掲載しませんか？
お問い合わせは広報委員会（電話070-5407-3925／担当：上田）

モザンビーク首都マプト大司教区立小学校学習机／椅子の寄贈（搬出作業）

日　時：2002年7月26日（金）　7:30～11:00
場　所：学校法人エスコラピオス学園　海星中学校・高等学校（四日市市）
面談者：中村文昭事務長、中瀬修介教諭（以上　海星中学校・高等学校）　（事務局）

海星中学校・高等学校（学校長田中實乗）から学習机・椅子の総入替えで使用していた机・椅子の寄贈の申し出をうけ、カリタスジャパンはかつて学習机・椅子の援助申請を申し出ていたモザンビークの首都マプト大司教区立小学校に寄贈することを決定。海星中学校・高等学校からの輸出経費の補助もうけ、1,216脚（40フィートコンテナー　12.06m×2.34m×2.5m）の搬出作業を行った。コンテナー積込みには同校の野球部、生徒会の生徒が業者に協力。なお、寄贈先のマプト大司教区立小学校はマプト市内のスラム街にあり、共産主義政権下25年の間、17年間の内戦にあって、学校は荒廃、政権崩壊後の土地、建物が返還された。教区はカリタスイタリア、カリタスドイツの援助で学校建設に取り掛かっており、カリタスジャパンに机・椅子の援助を申し出ていた。現地の小学校には9月上旬には搬入される見込み。



机をコンテナーに運び入れる生徒たち

▲「カリタスジャパンニュース」2002年7月号の記事（カリタスジャパン様の許諾を得て転載しています。）

たとしたら、いよいよ記録に残っている可能性が高い。この情報をもって、再度カリタスジャパンへ連絡してみると…

「もう一度調べ直したところ、ウチの機関誌があるのですが、20年前のものも残っておりまして、そこに貴校の記載がありました。」

「おお、本当ですか！」

3年に及ぶ執念が実った瞬間であった。思わずテンションが上がって声が大きくなっていた。担当氏はおそらく戸惑いの笑みを浮かべたことだろう。手に入れた資料のデータファイルを開くと『カリタスジャパンニュース』の2002年7月号に「モザンビーク首都マプト大司教区立小学校学習机／椅子の寄贈（搬出作業）」という見出しで、記事が掲載されていた。我々的には「机」と「椅子」の間のスラッシュは要らなかったんじゃないかと思うが、見出しの下には日時・場所・面談者が記録されていて、中村前事務長と吉川氏の他に中瀬修介先生（29回生）の名前もあった。記事は次のようなものであった。

「海星中学・高等学校から（中略）机・椅子の寄贈の申し出をうけ、カリタスジャパンはかつて学習机・椅子の援助申請を申し出ていたモザンビークの首都マプト大司教区立小学校に寄贈することを決定。海星中学・高等学校からの輸出経費の援助もうけ、1216脚の搬出作業を行った。コンテナ積込みには同校の野球部、生徒会の生徒が業者に協力。なお、寄贈先のマプト大司教区立小学校はマプト市内のスラム街にあり、共産主義政権下25年の間、17年間の内戦にあって、学校は荒廃。（中略）現地の小学校には9月上旬には搬入される見込み。」（原文一部修正）

つまり、以前から机・椅子の援助要請の話があったところに、タイミング良く海星からの申し出があり、寄贈が実現したというわけだ。「渡りに船」で「机と椅子」の代わりに「机椅子」が届けられたのである。現地の状況に関する記述は「星塔」の記事と一致しており、どうやらこれが情報源であったと推測できる。また、同誌の同年8・9月号には、輸送費約313万円のうち100万円が海星からの援助であったことが明記されていた。海星で使われていた大量の机椅子は、当時「星塔」が報じたとおり、カリタスジャパンを通じてモザンビークの学校へ送られていたのである。

机椅子の行方不明疑惑と「星塔」の誤報疑惑をみたところで、次に電話をかけたのは誰もが知る大手メーカー、コクヨ。実は、海星が机椅子との入れ替えで導入したセパレート型の机と椅子はコクヨ製のものであり、香取氏との会話の中でも「大手」の例として名前が挙がっていたのだ。

「過去にそういった製品の取り扱いがなかったか調べてみます。」

と、電話が保留になって1、2分後だったろうか。

「過去のカタログを調べましたら、20年ほど前まで一体型の製品を作っていたようです。20年前といえば、入替えの時期と重なるではないか。もしや我々の「机椅子」はコクヨ製だったのか？　さっそく送ってもらったデータファイルを確認したところ、それは写真（↓）のようなものであった。残念ながら海星のそれとは違うタイプであった。1998年頃まで生産され、現在は廃番となっているとのこと。海星と灘以外にも一体型机椅子を採用していた学校が存在していたということなのだろう。

もう1人のキーパーソン、当時の校長・田中實乗先生への電話も何度目かの挑戦でようやく繋がった。校長に就任される前には授業も受け持っていただいた恩師である。大変お世話になったが、なにしろ卒業から約20年が経過している。果たして覚えておられるだろうか――心配は杞憂に終わり、ありがたいことによく覚えてくださっていた。76歳になられたとのこと。同窓会の広報委員をつとめていることを伝え、本題に入る。

まず、一体型の机椅子を廃してセパレート型を導入したのにはどのような理由があったのだろうか。

「生徒たちの身体が大きくなってきて、彼らにあの机椅子は合っていなかったからね。机と椅子は離れていた方がいいだろうと。でも、まだ使えるものを廃棄してしまうのはもったいなかったので、カリタスジャパンに話をしたの。」

それまで一体型のものを使い続けていたのは、何か理由が？

「特にないよ（笑）。あるものを使っていただけ。昔は生徒数がもっとずっと多かったからね。余ってきた机椅子は、浄化槽のあったところか、マイクロバスの車庫の上に保管場所があって、状態の良いものを順次出してきて使っていたの。天板の取り換えや簡単な修理・修復なんかは学校技術員さんにしてもらったりしてね。（少なくとも在職中は）追加で購入したことはないよ。」

昔は他の学校でも一体型の机椅子を使っていたという話も聞きましたが…

「いや、私は海星に来て初めて見たよ。」

久しぶりに聴く先生の声は、昔と変わらず、温かく穏やかだった。最後にこちらの近況も伝えて、電話を切った。こんな機会でもなければ、連絡を取るきっかけも無かったかもしれないと思うと、机椅子にも感謝の念が湧いてくる。

今回の取材を通じて「机椅子の謎」についてはかなりの部分が解明された。悔やまれるのは、コロナ禍でモザンビークへの現地取材が叶わなかったことだ。感染状況が落ち着き、海外への渡航が自由になり次第、取材班は現地へ飛び、あの机椅子と再会したいと願っている（スポンサー募集中）。



▲ 現在は廃番となっている一体型の商品（コクヨ様の許諾を得て同社の製品カタログより転載しています。）

NKC
有限会社 二本松企画
労働者派遣業・請負業
三重県鈴鹿市平野町465番地1 Tel.059-379-0066
https://nihonmatsukikaku.co.jp/

長島いちご生産販売
のらくら農園
0594(42)3925
http://www.norakura-farm.com/

おいしさ・たのしさ・いいもの・いつでも
株式会社 きゅうぜい
☎059（347）8500

株式会社 ニューポート
TEL:059-345-1401
給食、レストラン部門、弁当・受託部門（社員食堂、厚生施設）

海星高等学校同窓会公式ウェブサイトに広告を掲出しませんか？
お問い合わせは広報委員会（電話070-5407-3925／担当：上田）

海星高等学校同窓会 会計報告

【令和元年9月1日～令和2年8月31日】

収入の部	科目	金額	摘要
	繰越金	8453,413円	普通・定期預金
	入会金	2,030,000円	令和元年度入会203名
	賛助金	395,666円	学校より入学案内通信費
	総会会費	469,000円	
	会議自己負担金	92,000円	
	広告収入	670,000円	バナー広告・会報誌広告
	預金利息	300円	普通・定期預金
	雑収入	0円	
	合　計	12,110,379円	

支出の部	科目	金額	摘要
	会議費	276,878円	役員会・委員会費
	協賛金（賛助金）	55,000円	在校生支援（全国大会出場祝い）
	総会費用	931,734円	
	通信関係費	832,666円	案内・請求・会報誌等郵送料
	会報誌制作代	610,722円	会報誌印刷・封入・ラベル
	HP管理費	237,600円	ホームページ管理費
	卒業記念品費	179,300円	キーホルダー
	慶弔費	10,000円	お香典
	手数料	7,452円	送金手数料
	雑費	32,628円	文具・コピー・その他
	小計	3,173,980円	
	繰越金	8,936,399円	
	合　計	12,110,379円	

※本会の総会は規約に従って隔年で開催されますが、予算の編成と決算の監査は毎年行われています。明朗な会計運営を担保するため、弊誌では監査後の前々年度決算報告を毎号掲載しています。なお、総会で直前年度の決算と直後年度の予算を審議することが慣例となっており、結果として全ての年度の会計運営が総会の確認、検証を経る制度運用となっています。

海星高等学校同窓会「星の窓基金」特別会計報告

【令和元年9月1日～令和2年8月31日】

収入の部	科目	金額
	繰越金	4,488,406円
	個人寄付	79,352円
	海星祭バザー等	152,042円
	チャリティーゴルフ寄付	0円
	総会・会議他	0円
	運用貸付返済	0円
	預貯金利子	35円
	合　計	4,719,835円

支出の部	科目	金額
	運用貸付	0円
	郵便代	0円
	事務経費	0円
	次年度繰越金	4,719,835円
	合　計	4,719,835円

海星高等学校同窓会 予算

【令和2年9月1日～令和3年8月31日】

収入の部	科目	金額	摘要
	繰越金	8,936,399円	普通・定期預金
	入会金	1,300,000円	令和2年度卒業予定130名
	賛助金	380,000円	学校より入学案内通信費
	会議自己負担金	100,000円	
	広告収入	400,000円	バナー広告・会報誌広告
	預金利息	100円	
	雑収入	0円	
	合計	11,116,499円	

支出の部	科目	金額	摘要
	会議費	400,000円	役員会・委員会費
	協賛金（賛助金）	100,000円	クラブOB会協賛
	通信関係費	900,000円	案内・請求・会報誌等郵送料
	会報誌制作代	650,000円	会報誌印刷・封入・ラベル
	HP管理費	250,000円	ホームページ管理費
	卒業記念品費	200,000円	キーホルダー
	慶弔費	50,000円	香典・生花
	手数料	10,000円	送金手数料
	雑費	50,000円	文具・その他
	小計	2,610,000円	
	予備費	8,506,499円	
	合計	11,116,499円	

星の窓基金 運用報告

「星の窓基金」は経済的困難に直面する在校生を支援する目的で設立された、会員の篤志による同窓会独自の教育奨学基金です。一昨年度は別掲会計報告のとおり運用いたしました。貸付の多寡はその時々の経済状況に左右されます。幸いにして4期連続で利用申請がありませんが、将来に備えた基金の積み増しは継続してまいります。基金の趣旨にご賛同いただき、更なるご協力を賜りますようお願い申し上げます。

（同窓会長・水谷一郎／星の窓基金担当委員長・生川真也）

■募金金額
1口一、〇〇〇円（何口でも結構です。）

■払込方法
郵便局備付用紙にてご送金ください。

■払込口座　口座番号
〇〇八九〇―4―一三五二四四

■口座名称
海星高等学校同窓会

編集後記

1面でご案内したとおり今年は総会開催年に当たります。コロナ禍の中で総会をどうするか。役員会ではしっかり議論を行い、いつもと違う形で開催することを決めました。

同窓会はオープンで公正に運営されるべきあり、総会はそのためにも重要なもの。多くの方に出席していただきたいところですが、今回ばかりはそれも難しいのが現実。それだけに情報公開を担う広報委員会の役割はとても大きいと考えています。

この2年間、同窓会の活動も変容を余儀なくされました。開催された役員会は、これまでに7回。いつもの約半分です。そんな状況でも「同窓会だより」はいつもどおり発行できました。好評連載「恩師をたずねて」は訪問取材を自粛して今号もお休みにしましたが、「机椅子の謎」はリモート取材で解明が進みました。楽しんでいただけましたか？

「謎」の解明も明るいニュースではありますが、海星ではもっと大きなニュースが続いています。サッカー部の選手権出場、新コースの開設、共学化、生徒数の大幅増と校内の活性化、そして新校舎の建設へ。そんな海星の明るいニュースをお届けできるのは本当に嬉しいことです。わくわくする気持ちを同窓生のみなさんと共有できたらと思っています。

第1特集のタイトル「共学化した海星は今どうなってる？」は多くの同窓生の気持ちを代弁したつもりです。内容もみなさんの関心に応えられるものになったのではないかと自負しています。

第2特集では注目の新校舎について取り上げました。取材して感じたのは校舎というハード面の更新よりもソフト面である教育内容の更新が先に進んでいるということ。例えば「探究学習」。上っ面の知識だけで「分かった気」になるのとは異なる深い学びです。あるいは、多様性を大切にし、生徒諸君の主体性を育む先生方のはたらきかけ。そして何より、変化の時代だからこそ再評価されるべき普遍の価値「愛と真理」に基づく教育。何事も「中身」が大切なのは当たり前ですが、得てして「外見」が先行しがちなのが世の常。そうなっていないところに今の海星の素晴らしさを実感しています。

これから中学や高校を選ぼうというお子さんが周りにおられましたら、海星の今の様子をぜひ教えてあげてください。そして「今、海星すごくいいよ。」そんなふうに自信を持って勧めてあげてください。

（広報委員会・上田周平）

小林秀輔税理士事務所
TEL: (059) 353-3232
MAIL: 00105@k-kaikei.jp

不動産に関するご相談など、お気軽にお申し付けください。
株式会社 中村不動産　宅地建物取引業免許 三重県知事(11)第1221号
本社／三重県四日市市芝田1丁目10番10号
0120-928-916　www.narec.co.jp
検索サイトからキーワードで検索! narec 不動産 検索

AEON CARD
イオンマークのカードでおトクなお店
見せておトク! 使っておトク!
詳しくは、暮らしのマネーサイトにて
今すぐチェック! イオンカード 優待 検索

同窓会公式ウェブサイトでは本誌バックナンバーを公開中。ぜひご覧ください。
http://www.kaiseiob.com